

にしお 市議会だより

西尾市のこんなことが決まりました!

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2022
2 月号

No.145

【編集・発行】
西尾市議会事務局
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-56-2111(代表)



12月24日に、中学生を対象とした学生議会を開催しました。将来を見据えたまちづくりやワクワクするまちづくりについて、積極的に発言しました。

表紙に掲載する写真を募集しています！
詳しくは15ページをご覧ください。

12月定例会を11月30日から12月20日まで21日間の会期で開催しました。
12月1日、2日、3日には、18人の議員が市政について一般質問をしました。

CONTENTS

西尾市PFI問題対策特別委員会…01
議員活動…02
一般質問…03

審議結果…13
編集室…14
お知らせ…15

にしお市議会だよりは
西尾市役所ホームページ
でも見るができます。





市議会は
市の課題に対し
議員間で活発な
議論を行って
います。

西尾市PFI問題対策特別委員会

市議会では、西尾市PFI問題対策特別委員会（以下「PFI特別委員会」といいます。）の設置を、昨年9月定例会において可決しました。PFI特別委員会は、市の公共施設再配置の取り組みであるPFI事業について、問題の早期解決に向け公平公正な立場から検証するなど活動しています。なお、昨年行われたPFI特別委員会の状況は次のとおりです。

○第1回（令和3年9月29日開催）

PFI特別委員会の正副委員長の互選を行い、委員長には神谷庄二議員（新政令和）、副委員長には前田修議員（日本共産党西尾市議団）を選出しました。

○第2回（令和3年10月4日開催）

PFI特別委員会の基本的な運営方針を定めた「西尾市PFI問題対策特別委員会運営要綱(案)」を審査し、承認しました。

○第3回（令和3年10月11日開催）

増加費用訴訟判決（令和2年3月26日）及び解除通知書（令和2年9月30日付け、(株)エリアプラン西尾宛）について、市当局（資産経営局）から説明を受け、市側の見解等について質しました。

○第4回（令和3年11月10日開催）

(株)エリアプラン西尾を招致し、市から送付された解除通知に対する見解について説明を受け、意見交換をしました。

○第5回（令和3年12月6日開催）

(株)エリアプラン西尾から送付された解除通知に対する見解（令和3年10月11日付け、西尾市長宛）に対する回答書（令和3年10月28日付け、(株)エリアプラン西尾宛）について、市当局（資産経営局）から説明を受け、市側の見解や今後の行動等について質しました。

○第6回（令和3年12月17日開催）

市当局のPFI事業に関与する弁護士4名を招致し、令和4年3月末に迫った契約解除の見解や関係各法に照らした解釈などについて、意見交換をしました。

【西尾市PFI問題対策特別委員会】

委員長 神谷 庄二

副委員長 前田 修

委員 牧 一心

中根 志信

黒辺 一彦

磯部 雅弘

大塚久美子

松井晋一郎

永山 英人

鈴木 正章

中村 眞一

鈴木 規子

筒井 登

オブザーバー 神谷 雅章

大河内博之

議員活動

一色生田地区の産業廃棄物最終処分場跡地や 建設計画地を現地視察

市議会では、9月定例会で「西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議」を可決しました。

10月20日に市環境保全課産業廃棄物対策室から説明を受けながら、跡地の現状や最終処分場建設計画等について確認しました。市議会では、教育環境、自然環境、地場産業を守るために当該地への産業廃棄物最終処分場建設は適さないという考えを貫いていきます。



担当課から説明を受ける



産廃処分場跡地などを視察

吉良中学校・旧一色支所・ 一色町体育館を現地視察



吉良中学校を視察



旧一色支所を視察

市議会では、12月27日に西尾市PFI事業見直し方針により、PFI事業にて施設整備を行わないとした「吉良中学校」、「旧一色支所」と施設整備を行うとした「一色町体育館」の現状を確認しました。

「吉良中学校」は、教室の床や校舎、体育館の周辺で地盤沈下の影響で改修工事を行っていること、他校では進んでいるトイレの洋式化も遅れている状況でした。

「旧一色支所」は、その敷地は売却し、建物を解体するまで津波一時待避所として使用するとしています。

「一色町体育館」は、アリーナの天井などの非構造部材の耐震化、照明のLED化の他、建物の長寿命化のための大規模改修工事を行っており、順調に工事が進んでいることを確認しました。

12月定例会

■12月定例会では、諮問1件、単行議案14件、補正予算10件、陳情4件を審議しました。

一般質問



一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問することで、政策の見直しや提言等も行います。

その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策として、議員及び執行部はマスクを着用して行っております。

ここが聞きたい！
市政を問う！

町内会活動の支援について

A 前回同様、それぞれの施設で接種に対応する。

Q 高齢者施設や佐久島でのワクチン接種希望者については、前回同様、施設や佐久島診療所での接種対応との認識で良いか。また、福祉施設での接種についてはどうか。

A 前回同様、それぞれの施設で接種に対応する。

Q 高齢者施設や佐久島でのワクチン接種希望者については、前回同様、施設や佐久島診療所での接種対応との認識で良いか。また、福祉施設での接種についてはどうか。

A 前回同様、それぞれの施設で接種に対応する。

コロナ禍での各課題、支援は

Q ワクチン接種の予約方法について「電話が繋がらない、ネット・SNSが繋がらない」等、多くの苦情があった。今後の改善策は。

A 当初は約4万6千人に一斉発送したこともあり、申し込みが集中し、苦情が多く寄せられた。3回目の接種に際しては、2回目の接種から8か月以上経過している方に2週間毎の間隔で発送する。ワクチンも十分に確保されているため、円滑に接種できると考える。

Q ワクチン接種の予約方法について「電話が繋がらない、ネット・SNSが繋がらない」等、多くの苦情があった。今後の改善策は。

A 当初は約4万6千人に一斉発送したこともあり、申し込みが集中し、苦情が多く寄せられた。3回目の接種に際しては、2回目の接種から8か月以上経過している方に2週間毎の間隔で発送する。ワクチンも十分に確保されているため、円滑に接種できると考える。

Q ワクチン接種の予約方法について「電話が繋がらない、ネット・SNSが繋がらない」等、多くの苦情があった。今後の改善策は。

A 当初は約4万6千人に一斉発送したこともあり、申し込みが集中し、苦情が多く寄せられた。3回目の接種に際しては、2回目の接種から8か月以上経過している方に2週間毎の間隔で発送する。ワクチンも十分に確保されているため、円滑に接種できると考える。

Q ワクチン接種の予約方法について「電話が繋がらない、ネット・SNSが繋がらない」等、多くの苦情があった。今後の改善策は。

A 当初は約4万6千人に一斉発送したこともあり、申し込みが集中し、苦情が多く寄せられた。3回目の接種に際しては、2回目の接種から8か月以上経過している方に2週間毎の間隔で発送する。ワクチンも十分に確保されているため、円滑に接種できると考える。

Q ワクチン接種の予約方法について「電話が繋がらない、ネット・SNSが繋がらない」等、多くの苦情があった。今後の改善策は。

A 当初は約4万6千人に一斉発送したこともあり、申し込みが集中し、苦情が多く寄せられた。3回目の接種に際しては、2回目の接種から8か月以上経過している方に2週間毎の間隔で発送する。ワクチンも十分に確保されているため、円滑に接種できると考える。



新政令和

松井晋一郎
議員



詳細は
スマホで
チェック!



アサリ漁業復興に向けて

Q 町内会での草刈りや側溝清掃作業などが高齢化などにより、困難な地域が増えている。近隣町内会、NPO法人、個人ボランティアに依頼するための助成金交付や仕組みを検討しないか。

A 生活環境整備や美観維持に関することを行うため、地域振興活動事務委託料を支払っている。この委託料を活用してほしい。

Q 今こそ、アサリ漁業復興への支援を強化する時期と考える。国や県、市独自支援の詳細は。

A 市独自に稚貝放流、漁場管理、生態調査・研究、稚貝定着促進用ポール設置を行っている。国、県は、有害生物の捕獲駆除や矢作川の砂を搬入する干潟・浅場造成、砕石覆砂を実施している。今後引き続き、各漁協が実施する活動等の支援に努める。

一般質問 Q & A



新政令和
本郷 照代
議員

運転免許証自主返納促進に向けて

Q 自主返納の実績推移と返納を促す支援策はどのようなか。

A 平成30年は461件、令和元年が679件、2年は618件と令和元年以降の受理件数が増大している。自主返納した75歳以上を対象に一定期間、コミュニケーションバス等の割引乗車証を交付している。

Q 移動販売車による買い物支援等を検討すると昨年の答弁にあったが、その後はどのようなか。

A 今年4月から東幡豆地区で実施している。地域包括支援センター吉良幡豆がニーズ調査を行い、豊川市内で移動販売車を稼働する業者に相談し、東幡豆地区で毎週一回行っている。現在15拠点で約50人が利用している。また、11月30日からは別業者が総合体育館周辺で移動販売を始め、今後、三和地区など他の地区にも拡大していく。



詳細は
スマホで
チェック!



コロナ禍で子どもの健康は

Q デジタル機器に触れる時間が増え、子どもたちの目の健康に関する現況はどのようなか。

A 中学生の視力低下の傾向が見られ、コロナ前と比べて、視力0.1未満の生徒の割合が男子4ポイント増加の46%、女子6ポイント増加の53%であった。

Q コロナ禍の学校生活や園生活への影響はどのようなか。

A 長期出席停止の児童・生徒にはスクールカウンセラーも対応し、家庭との連携を密にし、不安なく登校できるよう支援している。園では、言葉やしぐさによる受容がこれまで以上に必要となり、給食時には食事環境に工夫を凝らし、食事の楽しさが感じられるよう努力している。

その他の質問

・さらなる包括的支援体制の構築に向けて



新政令和
稲垣 一夫
議員

特殊詐欺被害について

Q 近年の特殊詐欺被害はどうか。

A 被害額は、令和元年が9件で約2398万円、令和2年が17件で約2125万円、令和3年10月末現在7件で約1542万円となっている。また、本年の平均被害額は1件あたり約220万円である。

Q 特殊詐欺に遭わないための「防犯通話録音機」の設置に対し、助成しないか。

A 啓発活動を実施することで、市民の防犯意識の向上を図ることが最善と考えている。また、防犯機能付き電話機購入助成等については、調査・研究していく。

市民病院のあるべき姿について

Q 今年度、新たな医師の赴任により今までと変わった点は何か。

A 脳神経外科と神経内科に若い優

秀な医師が2人赴任したことをきっかけに、今はまだ部分的ではあるが、脳卒中の救急対応ができるようになった。この地域に欠けていた医療の提供が、できるようになったと考えている。

Q 新型コロナウイルス感染症について、感染者の受入状況はどのようなか。また、地域医療機関としての役割をどのように考えているか。

A 市民の生命を守る自治体病院の責務として、令和2年には疑い患者の対応を始め、4月には陽性者の入院を受け入れた。第5波においては、当院が受入可能としている病床数をはるかに超える患者を受け入れた。

Q 市民の健康を守るため、市民病院の果たすべき役割をどのように考えているか。

A 地域の医療を守る市民病院として、存続し続けることが大切であると認識している。課題は多く、大変厳しい状況にあることには変わらぬが、市民の期待に応えられるよう、引き続き取り組んでいく。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A



新政令和
渡辺 信行
議員

幡豆地区のスポーツ施設・名鉄駅の整備、観光の振興は

Q 緑ヶ崎野球場に女性用トイレを整備できないか。

A 現在のトイレは男女兼用で衛生面もよくないと認識しているので、前向きに検討する。

Q 東幡豆と西幡豆の駅舎が名鉄により取り壊しとなるが、市で簡易な待合所を設置できないか。

A 地域のニーズを把握した上で、規模や構造等の検討及び名鉄との協議について検討していく。

Q こどもの国駅のトイレの改修とロータリーの排水改修は。

A 名鉄には要望しているが乗降者数が少なく、費用対効果等を勘案して改修の考えはないと回答があった。市での施工については、想定以上に費用が掛かることから簡易な改修方法を検討している。

Q 全国でも珍しいトンボロ干潟に名を付け、前島にオブジェを設置して観光振興を考えないか。



詳細は
スマホで
チェック!



トンボロ干潟

A 新たな取り組み案として、島を所有している地元自治会や漁業協同組合などと検討してみる。



児童・生徒の不登校対策を

Q あゆみ学級環境改善、家族の負担を軽減する柔軟な通室時間帯の対応を考えないか。

A 明るい雰囲気の一部屋にしていく。通室時間の拡大は、指導員確保など課題も含めて今後検討する。

Q あゆみ学級を幡豆や吉良、中学校単位で設置できないか。

A 人材や場所の確保が難しく喫緊の対応はできないが、今後の大きな課題と捉えている。

その他の質問

・大型台風や集中豪雨対策は
・デジタルトランスフォーメーション推進の考え方、推進体制及び課題は



新政令和
鈴木 正章
議員

選挙の投開票事務について

Q 先般の衆議院選挙での、投票用紙の交付誤りの経過と再発防止策はどのようなか。

A 平坂投票所で、小選挙区の投票用紙を比例代表の交付機に誤ってセットし、13人の有権者に誤交付した。再発防止策として、今後、交付機へのセットは複数人で確認する。また、確認事項をチェックリストにするなどの対応を行う。

Q 同じ12区の岡崎市と開票速報での開票率比較で、大きな差異が出ている要因はなにか。

A 本市は小選挙区の種類は手作業である。一方、岡崎市は読取分類機使用で作業が円滑に進んだ。この違いが大きな差異要因である。

Q 6月執行の市議会議員選挙で、開票速報の得票数発表の一部に時間的片寄りが発生した。防止の具体策はどのようなか。

A マニュアルに候補者ごとに票の



詳細は
スマホで
チェック!



点検を平均する項目や、開票中の票の流れを候補者毎に平均する項目を追加し、片寄り防止に努める。

資源ごみの分別・ごみ対策は

Q 本年6月に成立したプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の対応はどのようなか。

A 国は、4月からプラスチック製品の分別収集・リサイクルを創設する予定をしている。詳細な制度設計や近隣市の状況を注視し進める。

Q 「雑がみ」のリサイクルを向上させる方策はどのようなか。

A 来年度、市内全土帯に「雑がみ」を分別収集する袋を配布し、資源としての分別収集を周知徹底する予定である。

Q 市管理の排水機場のスクリーンで回収したごみの状況はどのようなか。

A 可燃ごみ・不燃ごみともに乾燥し、クリーンセンターにて処理している。可燃ごみで前年度137トン、処理費用は約1千万円である。

一般質問 Q&A



西尾みらい
黒辺 一彦
議員

西尾市の農業及び水産業の振興は

Q 市内の農家数、漁家数の推移はどうか。

A 農家数は、平成27年度が3950戸、令和2年度3277戸で17・0%の減少。漁家数は、平成25年度が633戸、平成30年度453戸で28・4%減少している。

Q 国の新規就農者対策である農業次世代人材投資資金の制度改正により、全額国庫負担から地方負担を求めることになるとの情報がある。その内容と今後の対応はどうか。

A 負担割合が国2分の1、地方が2分の1で県と市町村の割合は現時点で示されていない。全国の関係者から再考を求める声も大きく、今後の国の判断を注視している。市としては、制度継続に対して対応していく必要があると考えている。

ゼロカーボンシティ表明の意向と広域ごみ処理施設は



詳細は
スマホで
チェック!



Q 市としてのゼロカーボンシティ表明の意向はどうか。

A 現在見直し中の第2次環境基本計画の内容や県内の自治体の表明状況を勘案し、本年度中に行いたい。

Q 広域ごみ処理施設建設の進捗はどうか。

A 岡崎八帖のごみ処理施設と西尾市クリーンセンターを統合して、現西尾市クリーンセンター敷地内に建設が予定されている。現在は、新施設の基本設計策定、環境影響評価業務委託に係る契約事務手続き、そして敷地内の測量調査を進めている。

Q 広域ごみ処理施設の運営形態、処理方式の決定まではどのように行われるか。

A 令和3年度に施設建設専門委員会を設置して検討される。PFIなど導入の可能性や数ある処理方式から発生する灰の量、建設コスト、二酸化炭素の排出量など総合的に評価し、また広く市民からも意見を聞き、令和5年度中に決定する。



自民隆盛会
永山 英人
議員

団塊の世代が75歳以上になる2025年問題は

Q 2025年の西尾市における要介護者の見込み者数は。

A 要介護認定者が1801人、要介護認定者が5564人の計7365人と推計している。うち75歳以上の高齢者については、要支援認定者が1585人、要介護認定者が5018人の計6603人である。

Q 地域包括支援センターの令和2年度利用状況と、2025年問題に向けた取り組みは。

A 介護保険サービスや介護予防認知症等に関する総合相談件数は4472件、訪問事業や通所事業等の総合事業サービスの利用人数は1078人である。市では2025年問題に向け、介護予防・生活支援サービス事業として「元氣アップリハビリ教室」「ころばん教室」等を、一般介護予防事業として「まちの体操教室」「高齢者通いの場」「脳活塾」等を行い、健康寿命の延伸や



詳細は
スマホで
チェック!



認知症対策に取り組んでいる。今後は、ますます役割が重要となる地域包括支援センターの人員体制強化や施設機能の充実等を図りながら、当センターを軸とした関係機関のネットワーク強化に努めていく。

障がい者のスポーツ推進は

Q 障がい者が気軽に参加できるスポーツイベントの開催計画や実績は。

A 来年3月6日開催の「にしおマラソン」の中で2キロ短車いすの部を設けたところ、定員いっぱい20人の応募があった。今後は、障がい者や健常者が一緒に参加できる「ポッチャ」という種目の普及のため、スポーツ推進委員会を中心となって体験会の開催を予定している。サークル活動がある社会福祉協議会や、来年4月開校予定の特別支援学校との連携も図りながら、競技の普及に向け取り組んでいく。

一般質問 Q & A



新政令和
犬飼 勝博
議員

安全・安心・快適に暮らせるまちづくりに向けて

Q 公式LINEアカウントをより多く利用していただくには、新機能を追加するなど、利便性向上に取り組む必要があると考えるがどうか。

A 登録者数が多いことの強みを生かして、LINE公式アカウントを活用した様々なサービスの導入を検討していく。

Q マイナンバーカードの普及促進を今後、どのように進めるか。

A 市では、コンビニ交付の発行手数料を値下げして市民サービスの拡充を図っている。前年度同月比較3倍の利用があり、引き続き手数料100円を実施し、マイナンバーカードを利用したサービス提供に取り組んでいく。

カーボンニュートラルへの対応に向けて

Q カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に向けて取り組む必要



詳細は
スマホで
チェック!



があると考えているがどうか。

A カーボンニュートラルの実現に向けては、企業や家庭などすべての方の協力が欠かせない。協力いただくためには、地球温暖化の影響による様々な影響や弊害を認識していただく必要がある。

また、国や県、電力関係企業と連携し、再生可能エネルギーの地産地消を目的とした取り組みが必要と考えている。

Q 第8次西尾市総合計画へ、カーボンニュートラルの項目を反映する必要はあると考えるがどうか。

A 第8次西尾市総合計画の基本計画として、明確に位置づけたいと考えている。

Q ゼロカーボンシティの表明により、更なる取り組みを推進していくには、例えば、推進課を設けるなど、推進体制の強化が必要と考えるがどうか。

A 地球温暖化対策は大変重要な課題であるので、市民や企業と連携して推進できる体制を強化する必要はあると考えている。



無所属
佐々木 映美
議員

食の安全を

Q オーガニック（有機栽培）食材を学校給食に取り入れることを検討しないか。

A オーガニック食材は、健康志向の食材であると認識している。本市では1日約1万6千食に必要な量の確保や購入費用の増加、さらには下処理の時間が長くなるという課題があるため、現状では難しい。

Q 自治体がオーガニック食材を積極的に推奨することで、生産者が有機栽培に取り組みやすくなると考えるがどうか。

A 現状ではその手法が普及していないこと、流通コストや生産性などを考慮すると積極的な推奨は考えていない。しかし、今後オーガニック農業に取り組む農家があれば、国の補助メニュー等を活用した支援策に取り組んでいく考えである。



詳細は
スマホで
チェック!



西尾市ファミリーサポートセンターは

Q 令和2年度の依頼件数と、利用者の子どもの年齢層や主な利用目的はどのようか。

A 59人の依頼で、依頼件数は1226回。3歳から8歳までの子ども保育園や学校、習い事への送迎が依頼全体の86%である。

婚活支援の取り組みは

Q 本市はどのように婚活の支援に取り組んでいるのか。

A (株)三河湾リゾートリンクスとの官民連携による婚活パーティー（本年度はコロナ禍で行っていない）や、「結婚新生活支援補助金」事業に取り組んでいる。今後は、「結婚新生活支援補助金」の補助要件の緩和を検討し、多くの方に利用してもらいたいと考えている。

一般質問 Q & A



新政令和
青山 繁 議員

コロナ感染に関する県からの情報提供は

Q 県から自宅療養者、ホテル療養者、入院患者などの情報や感染ルートに関する情報が提供されないのは、どのような理由か。

A 内閣官房と総務省の連名による通達に基づくもので、「プライバシー保護と公衆衛生上の必要性を衡量して判断するなど、個人が特定され、誹謗中傷の対象とならないように」というものである。

志貴野地区河川防災ステーションの平常時の利活用は

Q 国土交通省では、「地域防災力の強化や水防災意識の向上を図るため、平常時ににぎわいづくりを一層推進する」としているが、具体的にどのようなことを考えているか。

A 例年の水防訓練、川と海のクリーン大作戦での利用や、パネルや模型を展示している。また、隣接の矢作古



詳細は
スマホで
チェック!



川分派施設も含めた水防災に関する防災学習の拠点とし、施設見学や防災学習の実施などを小・中学校に周知していく。

Q 当初計画の実現に向け、周辺の公園や観光施設をつなぐウォーキング・ランニングコースをつくらないか。

A 今後、ステーションの有効活用を図るべく、周辺施設をつなぐコースについて、安全に利用できるルートの再検討をしていく。

新渡場・志貴野間における矢作川堤防道路の通行止めに伴う、迂回車両に対する交通事故防止策は

Q 今後、開通の見通しはどうか。

A 開通の予定はない。

Q どのような事故防止策なのか。

A 速度抑制対策として、外側線による車線幅員の縮小や交差点部のカラー塗装を実施しているが、その他にも、一部停止規制や速度規制など、西尾警察署とも連携をとり、事故防止策の検討をしている。



無所属
杉浦 功記 議員

市道岡島高河原線支線の問題解決に向けて

Q 土地所有者のJA西三河と土地買収の交渉は、合意に至っているか。

A 未整備箇所の測量調査設計が完了したら合意に至るよう交渉する。

Q 道路をつなげる場合①JA敷地を分断してガードレールが設置される可能性がある②フォークリフトでの運搬走行はできない等、デメリットは既に相手に話してあるか。

A 諸条件は今後の測量調査設計を基に協議し、理解を得ていく。

Q 裁判の判決では「却下された住民監査請求は適法に行われている」と判断されている。つまり「西尾市監査委員がこの住民監査請求を却下したことは不当」ということだが、この結果をどう考えるか。

A 「農協のために市が道路を整備した」という主張について、一定の事実は何えず、不適法な監査請求として却下した。一方、裁判所は要件を備えた適法な監査請求であったと判



詳細は
スマホで
チェック!



断した。監査委員と裁判所との見解の相違と捉えている。

Q 裁判所の判決を受けても「たまたま裁判所と見解が違っただけ、今でも却下の判断が正しかった」と考えているということか。

A あくまでも見解の相違であり、判断は正しかった。裁判所の判断は、裁判所の判断として受け止める。

PFI事業契約解除後の理想的な公共施設再配置

Q 吉良中学校に対する方針はどうか。

A 少しでも早く建て替えできるようにする。建設まで約7〜8年かかる。トイレの洋式化等の修繕は早急に対応し、学習環境を整備する。

Q 一色3館の運営方針について、今回の指定管理者の契約満了時には、通常どおり公募で競争原理を働かせて事業者を選定すべきではないか。

A 指定管理者制度の原則に基づき公募による事業者の選定を考える。

一般質問 Q & A



日本共産党西尾市議団
前田 修 議員

気候危機打開へ 地域主導の再エネ推進を

Q 政府は地球温暖化対策へ「カーボンニュートラル」を宣言し、CO₂排出削減を明らかにした。市の削減目標はどのようか。

A 2026年までに約50万トンの削減(2013年度比で約30%)の削減を見込んでいる。

Q 目標値をどのように達成させる考えか。

A 再生可能エネルギーの導入と製造業などの排出量削減が重要である。

Q 地元企業との間で、排出削減目標や計画などの協定を結ぶことが必要ではないか。

A 脱炭素化に向け、産業部門の協力は不可欠である。協定の可能性を研究していきたい。

Q 市内の太陽光発電を市内で消費するという「電気の地産地消」の取り組みが求められているがどうか。

A 地域新電力の立ち上げや電気の価格など調査・研究し、市としても



詳細は
スマホで
チェック!



取り組みが必要かあると考える。

Q 民間住宅の太陽光発電、太陽熱温水器、建築物の断熱化など制度を充実し、普及促進を図らないか。

A 現在の支援策だけでは難しい。今後、市独自の補助制度や制度の上乗せなど調査していきたい。

奨学金の緩和、通学路の 安全対策を

Q 給付型奨学金は70件の予算を計上しているが、37〜45人程度の支給にとどまっている。支給要件を緩和し、利用しやすくしないか。

A 4年間実施してきたが、現状を踏まえ、要件の緩和を検討したい。

Q 通学路の交差点の危険箇所は市内に38か所あるのに、2年間で3か所しか進んでない。残る35か所、早急に完了させるべきではないか。

A 対策が必要と判断した交差点を長期間放置することのないよう今後、短期間で完了できるよう予算を確保していく。



公明党西尾市議団
大塚 久美子 議員

保育士の働きやすい環境 づくりと負担軽減を

Q パワハラや人間関係などの精神的負担に対する相談は、どのように対応しているか。

A 相談する保育者の話を聞き、状況の把握に努めている。その後、直接話ができれば場合は慎重に指導する。特定されては困る場合は、当事者に面談や研修を通して、自分自身が気づく機会を設けている。

Q 保育士の事務について、勤務時間中に仕事を終えることができるように取り組んでいるか。

A フリーの立場の保育士や、事務パートを任用して行うなど工夫している。

Q 本市では保育士のパートが不足している状況なので、必要な時間外勤務の申請ができるよう取り組みはないか。

A 時間外勤務が必要な場合には、適正に時間外勤務の申請がされているものと認識しているが、各施設長に対しては、引き続き、適正な取り

扱いを周知していく。

Q 今年度から保育士の業務負担の軽減を図るため、ICTシステムの導入をするが、今後どのように活用するか。

A 園児が登降園する際に保護者がQRコードを読み取らせることにより、登降園時間を記録し、出席簿が自動作成及び自動管理され、保育士の事務削減につながる。

Q 保護者や保育士の負担軽減のために、園での使用済みおむつを回収する取り組みをしないか。

A 園での回収を希望する声が出ているとの話があり、私立園や近隣市では回収を行っているところもあるため、本市においても、今後紙おむつ回収の実現に向け、前向きに調査・検討していく。

Q 保育士のハラスメントや必要な時間外勤務に対して市長の考えは。

A 働きやすい環境づくりのため、最善をつくしていきたい。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A



無所属
鈴木 規子
議員

桑名市の産廃業者ケー・イー・シーの処分場建設の主張の真偽

Q ケー・イー・シーは「旧二色町と協議し、跡地を浄化、その費用は産廃最終処分場を設置し、その利益を用いると合意決定した」と言っているが事実か。

A 一色町と合意決定したという事実や協定の締結などはない。仮に事実であれば、合併協議で引き継がれる事項だが、その事実はない。

Q 同社は、合併後、榊原前市長が、同社社長や県議等と会談し、解決を依頼したと主張しているがどうか。

A 平成24年6月、前市長一人での出席と確認しているが、市に記録はない。ただし、その後、確認したところ「話を聞いた程度。跡地解決を依頼したことはない」とのことだった。

Q 同社は、平成24～25年にかけて、市と意見交換を行ってきたというが、その中で跡地掘り起こしについての進め方や問題点は協議されたのか。

A 掘り起こしによる粉じんや悪臭、



詳細は
スマホで
チェック!



地下水の汚染など、様々なリスクや対策の協議は行われていない。

Q 同社は、市長が交代した途端、協議すら持たない市の姿勢が理解できないというがどうか。

A 榊原前市長は平成26年以降、同社との協議を打ち切っている。その上で、有識者や地場産業団体、市民代表との協議を進めることとした。前市長は平成29年2月「跡地は異変があれば、県と連携し行政代執行も視野に入れ、きれいにしていく。このことで新たな処分場建設は必要ない」と議会でも答弁している。市としては、今後も県と連携をしていく。

Q 同社は、新聞の意見広告で環境保全のための処分場建設といい、跡地の15倍もの計画であるが、それならば、法による正規の環境影響調査や市民への説明、意見聴取を行うべきで簡便な申請手法は許されないと思うがどうか。

A 53社の全体計画で環境影響調査法に基づく手続きが必要である。なお、市は、計画は建設地として適していないと考えている。



新政令和
中村 直行
議員

子育てしやすい環境づくりを

Q 病児・病後児保育はどのようか。また現状において課題はないか。

A エルザの家では、病児・病後児保育を実施しており、利用実績としては、令和元年度が139名、2年度が13名、3年度は50～70名程度と想定している。中野郷保育園では病後児保育を実施しており、令和元年度が41名、2年度が12名、3年度は39名程度と想定している。中野郷保育園は、本年度中に園舎の建て替えが完了し、令和4年度から新園舎内での受け入れが始まり、施設面での充実が図られる。

Q 日中一時支援サービスの現況はどのようか。また、利用者や事業所からの要望や課題はないか。

A ここ数年減少傾向にあるのは、新型コロナウイルス感染症の影響で、サービスの利用控えがあったことや、事業者がサービスの提供を一時休止したことなどが考えられる。



詳細は
スマホで
チェック!



課題としては、日中一時支援を放課後等デイサービスの補完として利用される場合が多い中で、放課後等デイサービス事業所の定員が飽和状態にある。需要が高まり、支給調整が必要となって希望どおりにできないことや、事業所によって格差が生じないようにサービスの質を維持・向上させていくことである。

障害者福祉サービスの向上を

Q タクシー料金助成事業について、1枚当たり500円のチケットであるが、利便性向上のため、2500円のチケットを発行しないか。

A 現行どおりの運用とする。

Q 視覚障害のある方が、市からの郵便を見過ごさないために、封筒を点字郵便にしないか。

A 視覚障害のある方への情報の伝え方に配慮することは必要なことと考えている。まずは、福祉課から送付する封筒への点字記載について、今後実施を検討していく。

一般質問 Q & A



日本共産党西尾市議団
牧野 次郎 議員

コロナ禍で大変なひとり親世帯の自立支援を

Q コロナ禍で厚生労働省が示す「ひとり親自立促進パッケージ」について、本市の認識とプログラム策定の要件や支援はどのようなか。

A 緊急支援策で適切な事業実施が重要である。パッケージは資格取得のための「高等職業訓練促進給付金」の給付対象拡大と、就労に取り組むひとり親世帯に対して、償還免除付きの住居借上げの無利子貸し付け制度「ひとり親家庭住宅支援資金貸付」で構成されている。また、住宅支援資金は、母子・父子自立支援プログラムの策定が要件となる。

Q 周知をどのようにしているか。

A ハローワーク等にチラシによる周知をお願いしていく。SNSでは、LINE公式アカウントから市のホームページで紹介をしている。

聴覚障害者が自由に使える電話でのリレーサービス

Q 公的サービスで実施される聴覚



詳細は
スマホで
チェック!



障害者等への「電話のリレーサービス」の状況はどのようなか。

A 市は関与していないので把握していないが、利用はさほど多くないと考えている。

Q 公的機関では、本人としての取り扱いと周知はされているか。

A 周知はしていない。認識がなく迷惑かけないように、今後理解周知を図っていく。

医療的ケア児も教育・保育を等しく受ける環境に

Q 医療的ケアが必要な児童・生徒等への支援はどのようなか。

A 学校では、看護師を配置し導尿、痰の吸引等対応しており、施設も整備している。保育園では、2園で看護師を配置し、実施している。

Q 児童・生徒等の糖尿病のインスリン注射の対応も行わないか。

A 学校では、必要がある場合の接種を検討する。保育園では、来年度からKIRARA保育園（現中野郷保育園）でインスリン注射の対応を検討している。



新しい風
牧 一心 議員

西尾市民病院の改革プランの成果は

Q 収益向上に向けた取り組みで、特に成果のあった項目は何か。

A 研修医3人を含む医師が7人増となり58人となった。脳神経外科と神経内科の医師が赴任したことで、脳卒中の救急対応が可能となった。手術経験が豊富な産婦人科医も赴任し、下腹痛や不正性器出血など女性疾患への対応も充実してきた。

Q 病床利用率が6割台で推移し平均値は低い。病床を減らし経費の削減を検討してはどうか。

A 令和元年は70・4%、令和2年は66・7%、目標は75%である。一度病床を削減すると、医師が増加した時に病床を復活させることが難しい。コロナ禍の状況を踏まえ、非常に時に対応できる体制が必要と考える。

Q 想定される第6波や新興感染症に向けてどう取り組んでいるか。

A 感染症対策を継続した上で、病室の空気が外部に漏れないように陰圧化する装置を備えた病室を、12月



詳細は
スマホで
チェック!



末までに、5床から11床へ増床する。

質の高い教育をみんなに届けるために

Q ヤングケアラー問題への対応策についての進捗状況はどのようなか。

A 国の相談窓口を市内の子ども食堂や障害福祉サービス事業所などの関係機関を通じ周知している。また、愛知県より実態調査への協力依頼があり、校長会議で各学校に調査依頼をした。

Q 発達障害児童生徒や学習が遅れている子に対する習熟度別・少人数指導の状況はどのようなか。

A 複数の教師がチームティーチングによる指導を行っている。来年度は教育アシスタントを5人増員予定である。小学1年生から3年生までを対象に、クラスに応じて少人数指導に対応する非常勤講師を配置している。学校によって習熟度別で少人数指導を行っている。さらに、外国籍への児童生徒への指導のために12人の日本語指導員を配置している。

一般質問 Q&A



無所属
中村 眞一
議員



詳細は
スマホで
チェック!



投げ出されたPF1問題

Q SPCから専任技術者解任を求められていたが、市は応じなかったようだが、なぜ、専任技術者の解任をしなかったのか。また、内容の一方的な変更について調停委員からの見解はどのようか。

A 「建設業法を破つても解任するののか」と問われたので、そのままにした。見解は覚えていない。

Q 特定事業契約に欠陥があるのか。または、契約内容に問題は無いと考えているのか。

A 契約に至るプロセスに問題が多くあった。契約書の中で、例えば物価スライドの個所をどう読んでいいのかわからなかった。

Q 旧一色支所は解体し、敷地は売却か。それとも建物も敷地も再活用するのか。

A 今は売却の方向である。

Q 市民説明会で、市長の責任を聞いた市民に対し、市長は「二市の幹部が聞くようないいではな」と

いったと聞かざる事か。

A 答弁している。

Q 賠償額を試算したか。

A 概算額は試算した。しかし、合意解除であれば提示したが、一方的に市から解除したので提示していない。

Q 事業を中止してもやらなければならぬ事業はあるが、試算して市民に周知すべきではないか。

A 今の段階では、不確定要素があるので金額は示せない。

Q 国賠訴訟で、市は「特定事業契約書第15条3項の通知のみでB&Gは解除できている」と主張しているようだが、事実か。

A 市が第15条3項の通知の中で解体について、やってほしいと通知を出しているが、相手が拒否をしたので市で解体を実施した。

Q 一色3館の事業契約解除に伴い、来年度の運営について事業者への口頭確認は、誰がいつ行ったのか。

A 依頼できるだけの人が行った。12月25日に照会し、29日付で回答されている。

令和3年度女性議会

女性の視点を生かしたまちづくりに向けた令和3年度女性議会が、11月9日に市役所議場で開催されました。模擬議会形式で行われ、女性市民7人が登壇し、まちづくりや環境、交通インフラなど、日ごろ感じている疑問などを質問しました。市議会の山本道代議員が議長として議事を進行し、再質問も含めて1人15分以内の一問一答方式で進められました。

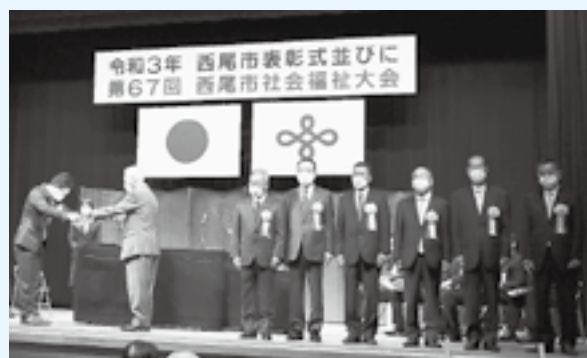


令和3年西尾市表彰式

西尾市の令和3年表彰式が11月25日に市文化会館で開催されました。

自治功労表彰では、12年以上西尾市議会議員として市政の発展に貢献したとして、9人の方が受賞されました。

自治功労表彰を受けられたのは次のみなさんです。(敬称略)
岡田隆司(細池町)、小林敏秋(寺津町)、山田慶勝(桜町)
颯田榮作(吉良町)、稲垣正明(中畑町)、長谷川敏廣(下町)
鈴木武広(西幡豆町)、石川伸一(吉良町)、故・新家喜志男(高河原町)





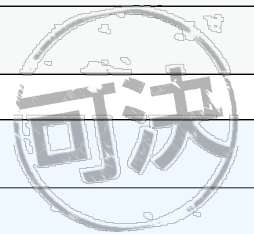
審議結果

01 / 12月定例会で審議され可決された議案等

☆人権擁護委員に坂田吉郎氏、澤 信一氏、加藤幹根氏、古崎康夫氏、牧 正治氏、小澤玲子氏、三矢由美氏を任命することに同意しました。

条例など	西尾市子ども・子育て応援基金に関する条例の制定について
	西尾市未来環境創造基金に関する条例の制定について
	西尾市こども給食センターの設置及び管理に関する条例の制定について
	西尾市津波避難施設の設置及び管理に関する条例の制定について
	西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について
	西尾市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市都市公園内体育施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	吉良恵比寿海岸駐車場指定管理者の指定について
	西尾市ふれあい広場指定管理者の指定について
	西尾市佐久島クラインガルテンの指定管理者の指定について
	土地区画整理事業に伴う町の区域の設定について
固定資産課税台帳登録の際に判明した土地の町及び字の区域の設定について	

補正予算	令和3年度西尾市一般会計補正予算（第7号）
	令和3年度西尾市一般会計補正予算（第6号）
	令和3年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	令和3年度西尾市病院事業会計補正予算（第1号）
	令和3年度西尾市水道事業会計補正予算（第1号）
	令和3年度西尾市渡船事業会計補正予算（第1号）
	令和3年度西尾市一般会計補正予算（第8号）
	令和3年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	令和3年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）
	令和3年度西尾市一般会計補正予算（第9号）



審議結果

03 / 12月定例会に提出された陳情書

陳情書	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	障害・介護福祉に従事する職員の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬を抜本的に改善し、離職しない障害・介護職の実現を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	公立学校教員への「1年単位の変形労働時間制」の廃止を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職の実現を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間化過密労働解消のための施策を求める陳情	議長預かり
	正規労働者が当たり前、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる社会を求める意見書の提出を求める陳情	議長預かり
	新型コロナウイルス感染症への取り組みについての陳情書	不採択
	子育て支援など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
	社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
障害職場の一人夜勤をなくし、常時複数配置ができる基準にするよう国に対し意見書提出を求める陳情	議長預かり	

04 / 議員の賛否の分かれた議案

12月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																												
		新政令和						新しい風				西尾みらい		自民隆盛会		共産党		公明党		無所属										
		神谷庄二	鈴木正章	稲垣一夫	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	青山繁	犬飼勝博	中村直行	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西章人	牧一弘	磯部基夫	藤井一彦	山本道代	永山英人	神谷雅章	松崎隆治	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	筒井登	鈴木規子	中村眞一	佐々木映美	杉浦功記
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
子育て支援など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	*	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「趣旨」…趣旨採択 「※」…議長のため採決に加わりません。

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

西尾市議会 広報委員会

電話 651-2182
FAX 541-0311

◎大河内博之 ○山本道代
 杉浦功記 牧一心
 中村直行 青山繁
 本郷照代 松井晋一郎
 前田修 永山英人
 (◎委員長 ○副委員長)

広報委員

皆様にとって、良い年になりますよう御祈念申し上げます。



遅ればせながら、明けましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年の女性議会や学生議会では、まちづくりに積極的なご意見をいただきました。市民、行政、そして市議会が「ONE NISHIO」を合言葉に、みんなが力を合わせて、笑顔があふれ、暮らしやすいまちづくりに議員一同、真摯に取り組んでまいります。

一人でも多くの市民の皆様により、議会を身近に感じてもらうよう、見やすく分かりやすい議会だよりの編集に努めてまいります。今後とも愛読のほどよろしくお願いたします。

お知らせ

次回 3 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/13	14	15 全員協議会 議会運営 委員会 (PM)	16	17	18	19
20	21	22 本会議 予算決算 委員会	23 天皇 誕生日	24 本会議	25 本会議	26
27	28 本会議	3/1 本会議 (予備日)	2 本会議 予算決算 委員会	3	4	5
6	7 厚生 委員会 ・分科会	8 文教 委員会 ・分科会	9	10 経済建設 委員会 ・分科会	11 企画総務 委員会 ・分科会	12
13	14	15 予算決算 委員会	16 議会運営 委員会	17	18	19
20	21 春分の日	22 本会議	23	24	25	26

会議は通常 10 時開会です。
※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、全員協議会、部会

表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介させていただきます。応募にかかる詳細については、議会事務局 (Tel65-2182) にお問い合わせください。次号は、あなたの写真が表紙を飾るかもしれません。ぜひご応募ください。

議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局 (Tel65-2182) へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 11ch

日時

- 2月25日(金) 13時(2月22日施政方針演説)
- 2月28日(月) 18時(2月24日代表質問)
- 3月 1日(火) 18時(2月25日一般質問)
- 3月 2日(水) 18時(2月28日一般質問)
- 3月23日(水) 18時(3月1日予備日)
- 3月25日(金) 18時(2月22日施政方針演説6市分)

インターネットで議会を見てみよう

西尾市ホームページまたは
右記QRコードからアクセス
できます。



音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音声版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音声版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会 (☎56・5900/総合福祉センター内)
閩福祉課 (☎65・2113)